

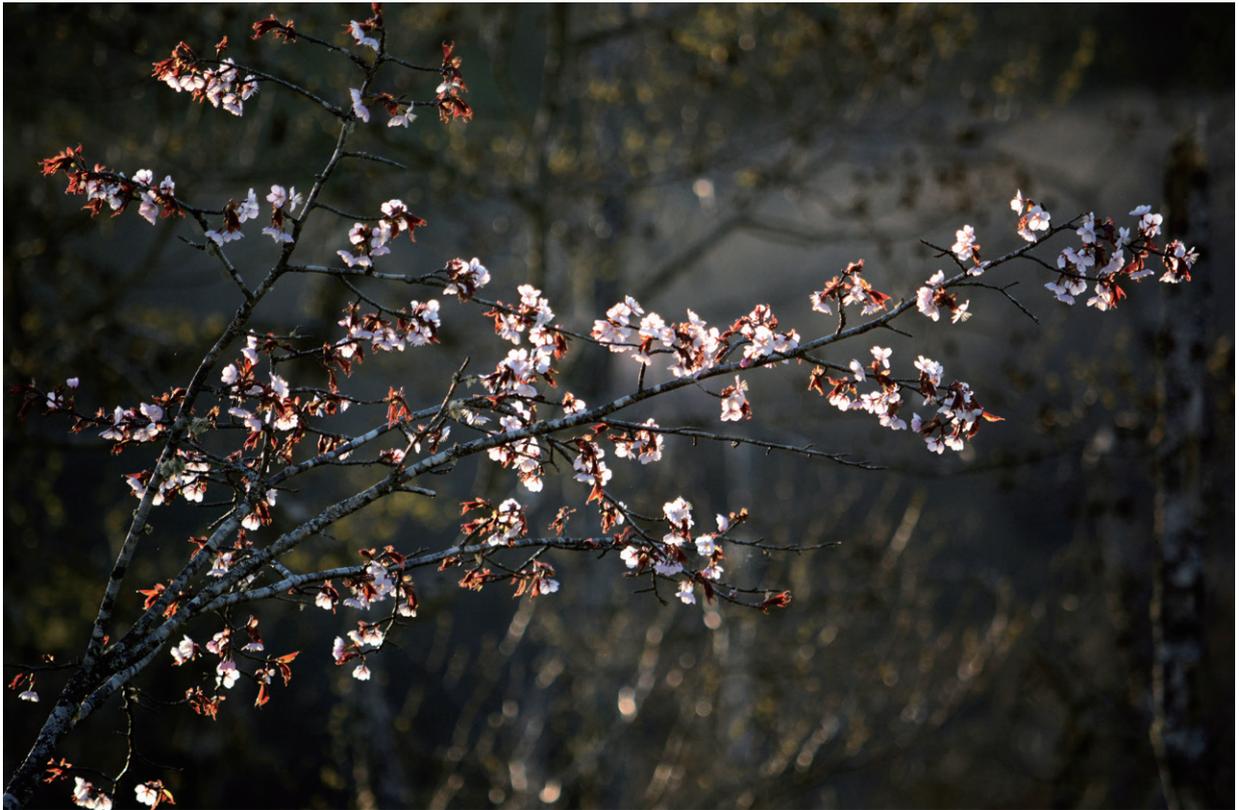
釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 温根内 通信

2025年5月号 No.344

5月15日(木)発行

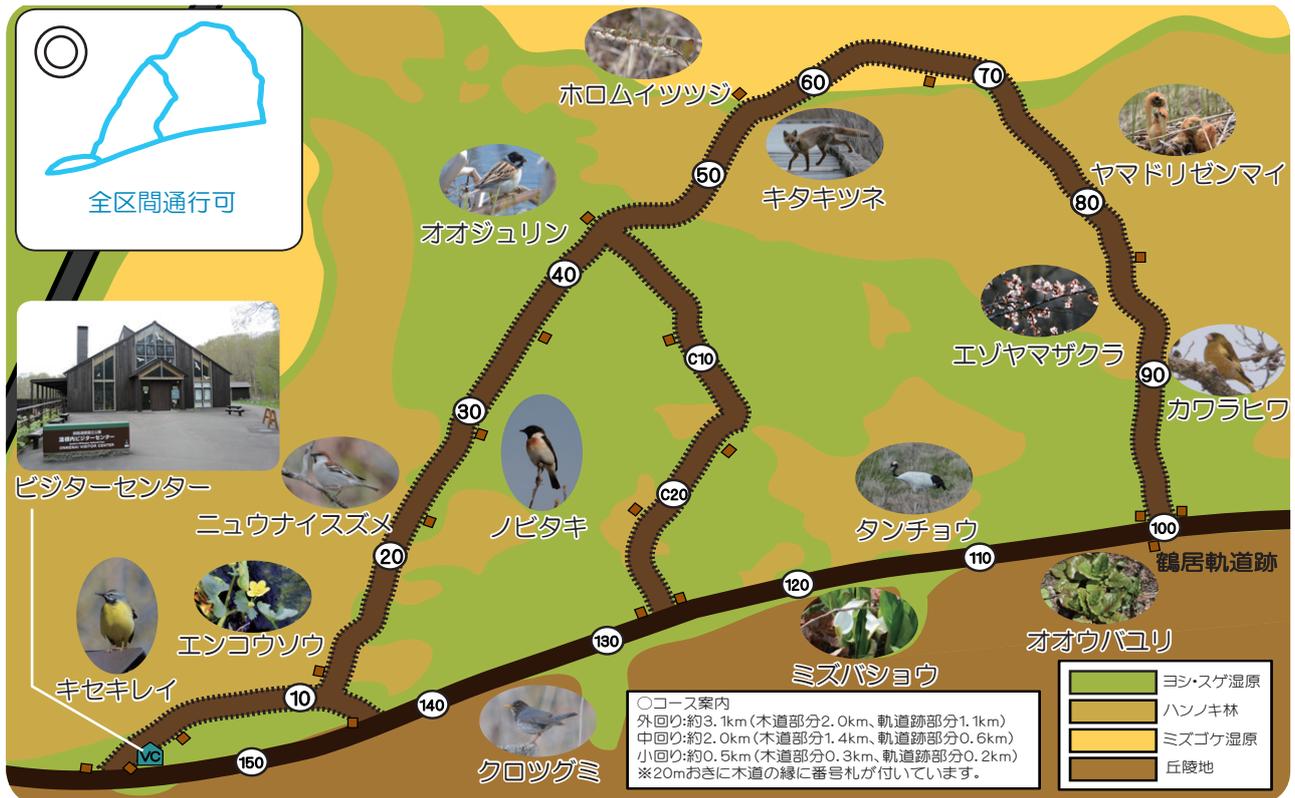


春の“イレギュラー”を探そう

「春」の植物といえば、皆さんは何を真っ先に思い浮かべるでしょうか。釧路地方は今、エゾヤマザクラが見頃。本州のソメイヨシノとはかなり趣が異なりますが、道民に愛され続ける、春の植物の代表格です。

木道のとある箇所に、ハンノキに混ざって例外的にエゾヤマザクラが1本だけ立っている所があります。この木も毎年花を咲かせ、知る人ぞ知るスポットとなっています。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（4/15～5/14） ☆☆☆



【エンコウソウ】
キンボウゲ科 猿猴草
湿原内に目立って咲く花のトップ
バッター。よく似るエゾノリュウキ
ンカの変種に当たります。



【ホロムイツツジ】
ツツジ科 幌向躑躅
厳しい冬を乗り越えて今年も蕾が開
きました。ミズゴケ湿原では定番の
春の花です。



【ヤマドリゼンマイの芽吹き】
ゼンマイ科 山鳥薺
ハンノキ林内で一団を作り異彩を放
ちます。芽吹きの際には茶色い毛を
まとっています。



【エゾエンゴサク】
ケシ科 蝦夷延胡索
目を凝らすと足元に見つかります。
花や葉には色彩のバリエーションが
あり、個体差も楽しめます。



【オオウバユリの芽吹き】
ユリ科 大姥百合
艶のある葉が印象的な春の芽吹き。
「シカに食べられませんように…」
と、いつも祈るように見えています。



【キタキツネ】 イヌ科 北狐
世界中に分布するアカギツネの亜種
のひとつ。夏毛になり、ほっそりし
た見た目になっていました。今は
子育て中とされます。

○表紙の写真 上：エゾヤマザクラ 下：ミスバショウ

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（4/15～5/14）☆☆☆

釧路湿原は繁殖に渡ってきた夏鳥たちの囀りで賑やかです。ビジターセンター周辺ではクロツグミやセンダイムシクイ、湿原に入った木道ではノビタキ、オオジュリン、鶴居軌道跡ではアオジやウグイスなどの声や姿が確認できています。木の葉が広がる前の今が、野鳥たちの姿を見るのに最も適した季節です。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しております。気軽にお声がけください。



【キセキレイ】 夏鳥

セキレイ科 黄鶺鴒

真っ先にやってきてVC周辺を動き回っていました。鮮やかな黄色が目を引きまます。



【クロツグミ】 夏鳥

ツグミ科 黒鶺鴒

樹上で声量豊かに鳴いています。なかなか姿が見られませんが、地面の餌を採っていた所に出会えました。



【カワラヒワ】 夏鳥

アトリ科 河原鶺鴒

河原の文字がありますが、生息範囲は広く、湿原でも見かけます。本種も姿を見るのが意外に難しいです。

○温根内木道周辺で観察された花・鳥（4/15～5/14）

花（和名は五十音順）* 外来種	26	バッコヤナギ	8	キジバト（4/18 初認）	34	センダイムシクイ（5/4 初認）	
1	アオイスミレ	27	ハリスゲ	9	クイナ（4/19 初認）	35	エソムシクイ（4/28 初認）
2	アキタブキ	28	ハルニレ	10	タンチョウ	36	メジロ（5/4 初認）
3	イヌコリヤナギ	29	ハンノキ	11	オオジシギ（4/20 初認）	37	ゴジュウカラ
4	ウラホロイチゲ	30	ヒエスゲ	12	タシギ	38	キバシリ
5	エソエンゴサク	31	ヒメイチゲ	13	アオサギ	39	クロツグミ（4/21 初認）
6	エソオオサクラソウ	32	ヒメタガラシ*	14	ハイタカ	40	アカハラ（4/23 初認）
7	エソネコノメソウ	33	フクジュソウ	15	チュウヒ	41	ツグミ
8	エソヒメアマナ	34	フデリンドウ	16	トビ	42	オオルリ（5/7 初認）
9	エソヤマザクラ	35	ホロムイツツジ	17	オジロワシ	43	ルリビタキ
10	エンコウソウ	36	ミスバショウ	18	アリスイ（4/26 初認）	44	ノビタキ（4/18 初認）
11	オオバタネツケバナ	37	ミツバツチグリ	19	コゲラ	45	ニューナイスズメ
12	オオバナノエンレイソウ	38	ミミナグサ	20	アカゲラ	46	キセキレイ
13	カブスゲ	39	ミヤマスミレ	21	オオアカゲラ	47	ハクセキレイ（4/22 初認）
14	キジムシロ	40	ヤチャヤナギ	22	クマガラ	48	ピンズイ（4/26 初認）
15	キタミフクジュソウ	41	レンブクソウ	23	ヤマゲラ	49	タヒバリ
16	キヌヤナギ	42	ワサビ*	24	ハシボソガラス	50	シメ
17	ケヤマハンノキ	43	ワタスゲ	25	ハシフトガラス	51	イカル
18	セイヨウタンポポ*	鳥（和名は日本鳥類目録第8版の順）	26	ヒガラ	52	ベニマシコ	
19	タガネソウ	1	マガン	27	ハシフトガラ	53	カワラヒワ
20	タチツボスミレ	2	オオハクチョウ	28	シジュウカラ	54	マヒワ
21	タチヤナギ	3	ヒドリガモ	29	ヒバリ	55	カシラダカ
22	チシマネコノメソウ	4	マガモ	30	ヒヨドリ	56	アオジ（4/18 初認）
23	ツボスミレ	5	コガモ	31	ウグイス（4/18 初認）	57	オオジュリン
24	ナガバヤナギ	6	ミコアイサ	32	ヤブサメ（5/8 初認）		
25	ネコノメソウ	7	ツツドリ（5/5 初認）	33	エナガ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事を開催しました ☆☆☆☆

○「温根内木道の植物ダイジェスト」4月20日 参加者：13名 講師：藤原伸也（温根内 VC 指導員）

どんな天候でも開催できることを意図した座学メインの本イベント。この日は狙い通り（？）、屋外イベントなら間違いなく中止になるような雨模様となり、まずは無事開催できたことを皆で喜び合いました。レクチャールームで伝えたのは季節ごとの見どころ、注目したい種、おすすめの歩き方など多岐にわたり、あっという間に時間は過ぎていきました。特に参加者の



興味を引いていたのは、近年急激に数を減らし、確認できなくなってきたクロバナロウゲなどの話題でした。ただしそれとは逆になぜかよく見られるようになってきた種もあり、湿原の不思議な性質も垣間見えてきたことも伝え、興味は尽きませんでした。解説後、雨が小降りになった頃に普段は案内しない新釧路川右岸堤防まで歩き、増えてきたミスバショウやウラボイチゲなどを観察しました。早春の湿原を堪能し、多くの感動のうちにイベントは終了しました。

☆☆☆☆ パークボランティア スポットガイドのお知らせ ☆☆☆☆



釧路湿原国立公園パークボランティア（PV）の方々が、**木道上の見どころのあるスポットで皆さんを待ち構えてガイドをしてくれます。**このスポットガイドは5～9月の期間、月に1回行う予定です。申込みは不要で、通りすがりで大丈夫！ぜひ楽しんでいってください。
5月の開催日時：5月24日（土）9:30～11:30
※天候状況などによって中止になる場合もあります。

☆☆☆☆ イベントのご案内（6月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323



♪初夏の花を見に行こう

〔日時〕6月8日（日）10:00～12:00

〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

釧路湿原はいよいよ花のシーズン到来です。初夏を代表する湿原の花々を観察しましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪初夏の湿原 展望台散策

〔日時〕6月21日（土）10:00～12:00

〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕サルボ展望台駐車場

～ミスバショウが増えてます～

温根内木道の周辺には近年、ミスバショウがちらほら見つかるようになってきました。なぜ増えているのか理由はわかりませんが、“隠れキャラ”を探す感覚でいつも巡視をしています！



月刊 温根内通信 No.344

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料